

報道関係各位

2025年3月17日
株式会社LIXIL

タイル焼成時間の大幅短縮や窯積みの自動化などの新技術を搭載した特注の大形タイルを生産する新ラインの稼働開始

株式会社LIXIL（以下LIXIL）は、常滑東工場（愛知県常滑市）において、タイル焼成時間の大幅短縮や窯積みの自動化などの新技術を搭載した特注対応の大形タイルを製造する新ラインの稼働を開始します。



LIXILの日本国内の水まわり・タイル事業は2024年で100周年を迎えました。事業開始当初からやきものづくりに取り組み、同じく操業100周年を迎えた常滑東工場は、これからの100年に向け、湿式タイルを製造する“インテリジェントファクトリー”を目指しています。そのために、やきものづくりの技術の向上・タイルの加工技術の創出・デジタル化を積極的に推進しています。その取り組みの1つが、3Dプリンタを使用した樹脂型の導入です。新技術の樹脂型の導入により、顧客のご要望に合わせたさまざまな意匠のタイルを生産できます。

今回新たに導入する特注大形タイルの生産ラインは、タイルの焼成時間が従来の40時間から22時間に短縮されます。これにより、タイル焼成時のCO₂排出量を約22%削減することが可能です。さらに、従来は人力で行っていた、タイルを窯で焼成するために台車に載せる作業を自動化しています。これにより、作業者の安全性向上を図るとともに、焼成時間短縮に合わせた積載サイクルを実現しています。近年では特注の大形タイルのニーズが高まっており、この新ラインの導入により、特注の大形タイルについてよりスピーディに対応できます。



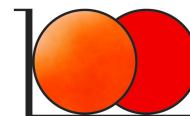
LIXILでは今後も、お客さまに新しい価値を届けられるよう、生産・供給といった観点からモノバージョン創出を図り、誰もが願う豊かで快適な住まいの実現に向けて貢献していきます。

■LIXILの水まわり・タイル事業100周年について

2024年、LIXILの日本国内の水まわり・タイル事業は今年で100周年を迎えます。1924年にINAXの前身となる伊奈製陶を設立以来、新たな暮らしの価値を追求し続け、数々のイノベーションを創出してきました。社会環境やニーズが大きく変化する今、そしてこれからの時代に向けて、これまで100年に渡り培ってきた革新的な技術と知見を礎に、お客さまの暮らしの中にある何気ない日々の幸せのために挑戦し続けていきます。

https://www.lixil.co.jp/lineup/s/water_tile_100th/

おかげさまで
LIXIL水まわり・タイル100年



LIXIL WATER TECHNOLOGY JAPAN
100 YEARS ANNIVERSARY

About LIXIL

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約53,000人の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。

株式会社LIXIL（証券コード：5938）は、2024年3月期に1兆4,832億円の連結売上高を計上しています。

LIXILグローバルサイト：<https://www.lixil.com/jp/>

